

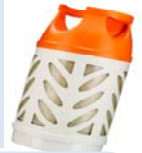
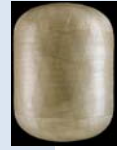
FRP容器の本体・ケーシング(Ragasco社パンフレットより)

①容器本体

- ・まず、内側のライナー(高密度ポリエチレン製)をブロー成形
- ・樹脂を含浸させたグラスファイバーをその上から巻き付け圧力容器を造る

②ケーシング

- ・容器本体の保護を目的とし、持運び・デザイン性からアウターケーシング(高密度ポリエチレン製)を取付ける



FRP容器の特長

①安全性が高い

- ・発売以来15年、北極圏(-40℃)から砂漠地域(65℃)にいたる70カ国以上で1千万本以上販売され、安全に使用されている。

- ・耐高圧性は、鉄製容器の2倍(約150気圧)

- ・火事にあってもコントロールされた燃焼により爆発しない。

* 火炎の熱により、内側のライナーが溶け、中のLPガスが本体外側のグラスファイバーの隙間から漏れ出し火がつく。

グラスファイバーは火炎の熱では溶けないので、LPガスはコントロールされた形で燃焼し、7.5kg型で約30分以内に燃え尽きる。燃え尽きた後も容器本体の形状は残る。

(2010年、呉市消防局立会いの下に行われた火炎暴露試験より)

②軽い

- ・鉄製容器の約半分～持運びがしやすく、省エネ配送

<空容器の重さ> 7.5kgFRP容器(バルブ含む):4.5kg
8kg鉄製容器: 10.1kg

③錆びない

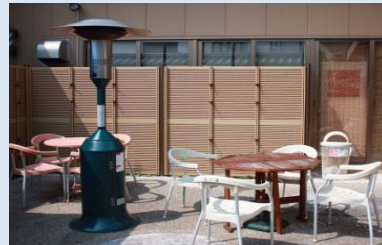
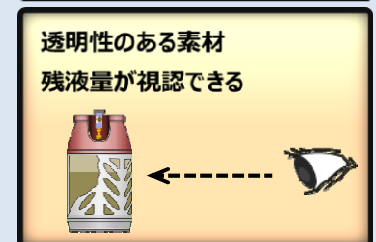
- ・沿岸地域や船舶での使用に適している
- ・鉄製容器に比べ、錆落とし等の維持コストが低い

④半透明

- ・半透明のため、LPガス残液の減り具合が容易にわかり、ガス切れの心配が無い

⑤カラフル

- ・多様な色があり、美観性に優れ、室内においても違和感が無い(但し、当面の輸入品については、青色に限定されます。)



FRP容器に関する問合せ先

<中国工業株式会社>

- ①本社 〒737-0192 広島県呉市広名田1-3-1 電話0823-72-1241

取締役事業開発部長:細川光一 事業開発部課長:大木優一

- ②東京支社 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町27番地 神田MSビル6階

東京支社長:中野敏 営業推進部次長:采(ウネ)信敏